

財団法人 8020 推進財団

平成 22 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：地域診断結果と 8020 住民歯科会議の融合

2. 申請者名：(社)島田市歯科医師会 会長 櫻井忠好

3. 実施組織：(社)島田市歯科医師会

4. 事業の概要：

地域格差の実態を把握するために実施した地域診断結果を基に潜在する問題点を表面化させ、地域住民が主体となり未来における「歯科保健サービスの在り方」を考える機会を設けた。限界を迎えた行政主体の歯科保健政策から発想転換し、住民の視点から解決への糸口を模索することで 8020 社会の実現に向けた地域住民の意識改革を目指す一助とした。

5. 事業の内容：

島田市における歯科保健の現状と地域特性（格差）について解説し、行政主導型による歯科保健活動が転換期を迎え住民参加型の歯科保健活動が歯科の未来に大きな可能性を秘めていることを周知する。

1) ライフステージを考え、行政・保育園看護師・教育委員会・介護施設・歯科医師会からパネリストを迎え、それぞれの立場から歯科保健サービスの現状と課題が報告された。

行政からは住民歯科会議（歯科保健専門部会）を設置したことにより、従来にないアイデアが出てきて歯科保健政策立案に有益であることが報告された。 歯科医師会からは特に歯周病の現状とその対策の必要性について地域ぐるみの取り組みが必要であることが発信された。

2) パネリストによる等価論を行い

3) 来場した市民出席者からも自由な意見・提案を受け付け、講演内容や議論過程を明確化し歯科保健活動に理解と関心の定着を図った。

6. 実施後の評価（今後の課題）

1) 地域住民が主体的に係わる住民歯科会議は、今後の「歯科保健の未来」に大きな可能性を秘めていることが実感でき、また出席した関係者にも十分に伝わった。

2) こうした取り組みを定期的実施することで、歯科保健の啓発にも極めて有益であると感じた。開催後のアンケート調査でも、参加者から本事業の意義に高い評価を得た。

3) 歯科における地域間格差を是正するために、行政と連携し定期的な歯科保健調査継続の必要性を感じた。